

数理科学委員会分科会の設置について

分科会等名： 数学分科会

1	所属委員会名 (複数の場合は、主体となる委員会に○印を付ける。)	数理科学委員会
2	委員の構成	30名以内の会員又は連携会員
3	設置目的	<p>数学は、最古の学問分野の一つであり、長い歴史を持つ一方、現代に至っては、多方面への広がりを増している。古くからあった、幾何学、代数学、解析学といった諸分野は、抽象性を増し、高度に発達している。他方、工学、経済学、生物学などへの応用に直接結びつく数学が、コンピュータの発展などとも関わって、大きな発展を遂げている。</p> <p>これらの諸数学は、現代文明を成立させる諸科学に不可欠な土台を形成している。</p> <p>多方面に及ぶ数学の諸分野の現状を把握し、多くの分野の相互の交流を図り、また、今後の発展に必要な諸方策を考えることが重要であり、これがこの分科会の設置の目的である。</p> <p>なお、数学は細分化したとはいえ、一体感を依然保持している学問分野であり、これを細分してそれぞれに分科会をおくのではなく、学問領域としての数学全体を扱う当分科会を置くのが、上記目的のためにはより適切である。</p>
4	審議事項	<p>数学およびその近接諸分野の研究状況について、審議検討する。また、数学およびその近接諸分野の研究活性化のために必要な方策を探る。</p> <p>数学およびその近接諸分野に属する諸学会の連携をはかる。</p>
5	設置期間	<p>時限設置 平成 年 月 日～平成 年 月 日</p> <p><input type="checkbox"/> 常設</p>
6	備考	<p>数学委員会ではその名前を数理科学委員会と改称することを提案する予定である。分科会名と委員会名の重複はこの改称が認められれば解消する。</p>

